

# 平成 15 年度事業報告書

2003 年 4 月 1 日～2004 年 3 月 31 日

## 1. 財団の機関会議

- ① 理事会 第 10 回理事会を 2003 年 6 月 21 日に開催し、平成 14 年度事業報告、決算報告について審議し、議決した。第 11 回理事会を 2003 年 12 月 23 日に開催し、会計処理規則、積立基金規定について議決を行った。第 12 回理事会を 2004 年 3 月 28 日に開催し、平成 15 年度補正予算、平成 16 年度事業計画、平成 16 年度収支予算、寄付行為の一部改正、環境再生推進事業積立基金規定について審議し、議決を行った。
- ② 評議員会 第 7 回評議員会を 2003 年 6 月 28 日に開催し、平成 14 年度事業報告、決算報告について審議し、議決した。第 8 回評議員会を 2004 年 3 月 6 日に開催し、平成 15 年度補正予算、平成 16 年度事業計画、平成 16 年度収支予算、寄付行為の一部改正、環境再生推進事業積立基金規定について審議し、議決を行った。
- ③ 監査 平成 14 年度決算について、山崎博幸監事、村木源二郎監事が 2003 年 6 月 9 日に監査を行った。
- ④ 委員会 組織・財務委員会：拡大財務委員会を 2004 年 2 月 28 日に開催し、みずしま財団中長期計画について検討した。
- ⑤ 事務局会議は、常勤職員による打ち合わせを毎週木曜日の午前 10 時より約 2 時間実施し、活動の企画運営について話し合いを行った。非常勤を含めた全体事務局会議は、毎月第 2 土曜日の午前 10 時から約 2 時間実施した。

## 2. 財団の活動

### I 環境再生活動の推進

#### (1) 八間川をシンボルとした環境再生活動

八間川調査は、生物・水質・流速・底質等の調査とともに各回ごとにテーマを設定した企画を同時に開催し、年 4 回実施した。第 5～16 回までの調査結果等をまとめた報告書、八間川で見られる魚類図鑑など教材を作成した。

2003 年 6 月 8, 14 日 アンケート回答者への結果送付

2003 年 6 月 21 日 第 17 回八間川調査

2003 年 8 月 10 日 第 18 回八間川調査

2003 年 10 月 報告書「八間川の再生をめざして」発行

2003 年 11 月 30 日 第 19 回八間川調査

2004 年 2 月 15 日 第 20 回八間川調査

#### (2) まちおこし「こだわり衆」の組織

倉敷市公害患者と家族の会会員を対象に行った「エコクッキング」教室について、より多くの市民に参加、地元食材の発掘等の検討を行った。また、地域の交流の場としての「コミュニティレストラン」に関する勉強会に参加した。

#### (3) 水島地域再生計画の検討

今後の水島地域再生計画作成に関連して、「水島地域に循環バスを実現する会」に事務局として参加した。また、環境問題に関して倉敷市との懇談会を企画、開催した。

2003 年 6 月 27 日 倉敷市との懇談会

2003 年 9 月 20 日 水島地域に循環バスを実現する会 総会

## II 公害被害に係わる体験や教訓を活かす活動

### (1) 公害裁判の資料の保存・教訓を活かす活動

資料の収集、整理、保存方策について、シンポジウムに参加するなど先進事例に学びながら検討した。あおぞら財団主催の公害資料保存研究会専門委員会及びワーキンググループへ参加した。また、「公害健康被害補償法 30 周年記念シンポジウム」に事務局として参加し、開催に向けての協力を行った。

2003 年 4 月 21 日、12 月 22 日 資料保存検討委員会（あおぞら財団）に参加

2003 年 11 月 29 日 シンポジウム「地域資料の保存と活用を考える」に参加

2003 年 9 月 28 日 公害健康被害補償法 30 周年記念シンポジウム

### (2) 地域の公害体験「語り部」活動

水島での公害の記録と、その後の環境再生活動を地域の人々に知ってもらうための環境再生展を倉敷市役所水島支所、水島公民館で開催した。また、新たな記録映画の製作を白井久夫氏（(株)創映社、元 NHK ディレクター、映像ジャーナリスト）に依頼し、総行動の様子、患者への聞き取り等の撮影を行った。

2003 年 6 月 4、5 日 全国公害被害者総行動の様子を撮影

2003 年 8 月 18 日～9 月 3 日 水島環境再生展

2003 年 8 月 31 日、9 月 1、29 日 患者の撮影

### (3) コンビナート公害に関する経験の途上国への情報発信

タイのバンコクで 2003 年 11 月に開催された第 6 回世界閉鎖性海域環境保全会議(EMECS2003)で、英語版のパンフレット「MIZUSHIMA」を配付し、水島の公害についての情報発信を行った。また、英語版のホームページは作成することができなかった。

### (4) 地球環境市民大学校への協力

環境事業団より委託を受け、岡山県下での「地球環境市民大学校 中国・四国ブロック 環境 NGO の集い」（環境事業団主催）の企画・運営を行った。

2003 年 12 月 23 日 地球環境市民大学校 中国・四国ブロック 環境 NGO の集い 開催

## III 調査研究の推進

### (1) コンビナート周辺の環境改善に関する調査研究

#### ①温暖化防止に関する調査研究

昨年度までに開発した温暖化防止教材「温暖化の危機から地球を守る」及びワークシートは、倉敷芸術科学大学の授業等での活用はあったが、小・中学校の総合的な学習の時間等での活用はほとんどなかった。

2003 年 4 月 24 日 平成 15 年度の活動方針について千葉喬三評議員との打ち合わせ

#### ②環境アセスメントに関する調査研究

倉敷市が PFI 法（民間資金の活用による公共施設の整備等の促進に関する法律）に則って計画を進めるゴミ処理施設の建設に関して、意見書を提出した。また、水島コンビナート内で計画されている産業廃棄物処分場、発電所改造計画の環境アセスメントに対しても意見書を提出した。

2003 年 4 月 18 日 「倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設整備運営事業」に対する意見書提出

2003 年 9 月 16 日 岡山県環境保全事業団「公共関与臨海部新処分場整備事業に係る環境影響評価方法書」に対する意見書提出

2003 年 9 月 26 日 中国電力「水島発電所 1 号機改造計画環境影響評価方法書」に対する意見書提出

2003 年 10 月 15 日 意見書に対する岡山県環境保全事業団の説明会

2003年10月24日 環境保全事業団水島処分場、水島エコワークスガス化溶融炉の現地見学  
(2) 瀬戸内海的环境再生に関する調査研究

環境事業団地球環境基金の助成事業のとして、これまでの調査活動を継続するとともに、昨年度作成した政策提言を元に海底ゴミ減量化に向けたパートナーシップ構築の取り組みを行った。岡山県庁水産課、寄島町漁協との懇談を行うとともに、寄島町でのゴミステーションの設置協力等を行った。その他、EMECS2003(タイ)でのポスター発表、3回連続講座「瀬戸内海をもっと知ろう!」を開催することで海外を含む市民への啓発活動を行った。本調査研究は、森瀧理事長、磯部理事、白井理事の主導で行われた。

2003年5月20日、6月3、13日、12月5日 岡山県庁水産課、寄島町漁協との打ち合わせ

2003年8月21日 大分県庁水産課への聞き取り調査

2003年11月18~21日 EMECS2003(タイ、バンコク)、ポスターセッション参加

2004年2月15、22、29日 3回連続講座「瀬戸内海をもっと知ろう!」開催

2004年3月13日 「瀬戸内シンポジウム in 大阪」(主催:日本科学者会議)参加、海底ゴミの報告

#### IV 広報・交流活動

(1) 財団広報誌「みずしま財団たより」の発行

財団の活動報告、今後の予定のお知らせ等、情報発信を目的とした広報誌「みずしま財団たより」を発行した。立石氏の民話、クロスワードパズルなどの内容を充実させるとともに、水島地域の魅力あるお店の紹介を目的とした連載も開始した。年6回(5、8、10、11、1、3月)、隔月で発行しており、その発行に際して、定期的にたより編集委員会を開催している。

2003年4月28日 たより12号編集委員会

2003年5月30日 みずしま財団たより12号発行「平成15年度事業計画、水島循環バス」など

2003年6月19日 たより13号編集委員会

2003年8月1日 みずしま財団たより13号発行「特集 海底ゴミ調査の3年間を振り返って」など

2003年8月12日 たより14号編集委員会

2003年10月2日 みずしま財団たより14号発行「特集 水島の公害」など

2003年10月14日 たより15号編集委員会

2003年11月4日 たより16号編集委員会

2003年11月17日 みずしま財団たより15号発行「特集 環境アセスメントってな~に!」など

2004年1月1日 みずしま財団たより16号発行「EMECS2003特集」など

2004年1月23日 たより17号編集委員会

2004年3月23日 みずしま財団たより17号発行「瀬戸内海国立公園特集」など

(2) ホームページによる情報発信

みずしま財団の活動をより広く知ってもらうためホームページを整備した。内容は財団設立の経緯や各種事業の紹介とともに、毎回のイベントの案内等も掲載している。

(3) 財団発行物

年次報告書1冊、環境改善報告書シリーズ1冊、その他報告書1冊を発行した。

・みずしま財団年次報告書 Vol.3 2002年4月~2003年3月(2003年12月)

・八間川の再生をめざして一八間川調査隊の活動記録一(2003年10月)

※(財)河川環境管理財団 河川整備基金助成事業

・パートナーシップによる環境改善報告書 No. 11

「海底ゴミの実態把握調査を通じた市民意識の啓発活動 報告書」(2004年3月)

※環境事業団地球環境基金部助成事業報告書

(4) FMくらしき「みずすましの耳」での情報発信

広報活動として、毎月1回第4木曜日のFMくらしき「みずすましの耳」(19:20から約10分間)で財団の活動報告、イベントの案内等を放送した。

(5) その他の活動

交流活動としては、あおぞら財団、日本環境会議、気候ネットワーク、瀬戸内の環境を守る連絡会、沖縄環境ネットワーク、高梁川流域ネットワーク、(財)おかやま環境ネットワーク、CASA、国際エメックスセンター、グラウンドワーク三島、倉敷市まちづくりネットワーク等との交流をおこない、各種事業への参加、協力を行った。

・社会教育全国集会岡山大会(8/23-25)への実行委員としての参加

環境分科会の企画・運営への参加、エコツアーの企画提出

実行委員会(7/5、7/26、9/21)

分科会打ち合わせ(4/19、5/12、5/17、6/16)

・公害病認定患者等の療養生活向上に関する調査への協力

あおぞら財団がおこなう調査に対し、水島協同病院などとともに協力をおこなっている。

2003年10月8日 水島協同病院での打ち合わせ

・GREENDAY2003及び2004への実行委員会への参加

高梁川流域の森と水と暮らしを考えるイベントに実行委員として参加。2004年度の第2回も実行委員として参加。

2003年4月29日 GREENDAY2003開催(屋外テントにて活動をパネル展示)

GREENDAY2004実行委員会(9/3、10/14、11/12、12/17、1/14、2/4、2/25)

・自治研究集会への協力

岡山県自治研(6/29開催)環境分科会運営員として参加

倉敷市自治研(9/21開催)実行委員会へ参加

実行委員会(7/18、8/12、9/9、10/9)

分科会打ち合わせ(6/25)

・水島健康まつり(10/5開催)

倉敷医療生協創立50周年を記念の「水島健康まつり」の環境企画委員会に協力。

打ち合わせ(7/24、8/19、9/10、9/25)

・まちづくり人材養成塾・くらしき中心市街地活性化フォーラム

倉敷市商工課が開催したまちづくり人材養成塾に参加(9/13, 14, 12/6, 7)。その後、同商工課が開催した「くらしき中心市街地活性化フォーラム(2/14開催)」に対して同塾の参加者らが中心となって実行委員会を結成し、フォーラム企画・運営に関わった。その実行委員会にも参加した。フォーラム終了後もフォロー委員会に参加。

実行委員会(12/26、1/20、2/3、2/10)

フォーラムフォロー委員会(2/23、3/9、3/24)

・おかやま環境フォーラム

おかやま環境ネットワークが主催する「おかやま環境フォーラム(3/27)開催」において第1分科会担当団体および実行委員会として参加。

プレ分科会(1/16、2/8、3/12)

実行委員会(1/21、2/25、3/18)

・その他

- 2003年6月26日 環境白書を読む会（主催：環境省）参加
- 2003年6月30日 車座座談会（主催：倉敷地方振興局）参加
- 2003年7月27日 瀬戸内法シンポジウム（主催：環瀬戸内海会議）参加
- 2003年8月2日 「フォルサ倉敷」（主催：倉敷青年会議所、倉敷市など）出展
- 2003年8月21-22日 瀬戸内海研究フォーラム in 大分（主催：瀬戸内海研究会議）参加
- 2003年8月26日 東京農工大 朝岡研究室視察 受け入れ
- 2003年8月30-31日 瀬戸内住民集会（主催：第26回瀬戸内住民集会実行委員会）参加
- 2003年9月7日 岡山市自治研集会（主催：63万市民のつどい実行委員会）参加
- 2003年9月14日 日本陸水学会岡山大会 ポスター展示
- 2003年9月13-15日 日本環境会議滋賀大会 参加
- 2003年10月11日 日本地理学会巡検 案内
- 2003年10月12日 日本地理学会 報告
- 2003年10月12日 エコフェスタ展示（主催：岡山県ほか）参加
- 2003年10月19日 東播磨法律事務所30周年記念会議 参加
- 2003年10月25日 入浜シンポジウム（主催：高砂緑地問題研究会）参加
- 2003年10月26日 環境教育推進法ワークショップ（主催：環境省）参加
- 2003年11月24日 瀬戸町公民館講座 受け入れ
- 2003年11月28日 岡山県地球温暖化防止シンポジウム（主催：岡山県など）参加
- 2004年1月23日 コミュニティレストラン学習会 参加
- 2004年1月25日 岡山NPOボランティアメッセ（主催：同実行委員会）参加

3. 組織

I 事務局

- ・藤原園子研究員は、2003年6月1日から出産・育児休暇中。

II 賛助会員

- ・ 広く財団の活動を支援していただくための賛助会員の拡大をめざして、たより・報告書等による情報発信の充実を図った。平成15年度より個人会員1口1,000円（2口以上）、団体会員1口10,000円、法人会員1口10,000円（2口以上）。会員には特典として、財団発行物、みずしま財団たよりの送付、開催イベント等各行事のご案内の送付等。

賛助会員数	個人	法人	団体
平成14年度	292口 (127人)		27口 (14団体)
平成15年度	312口 (123人)	15口 (5法人)	14口 (10団体)
平成15年度目標	300口 (150人)	30口 (30法人)	60口 (30団体)

以上